

知っておきたい ことしのしごと

上富良野町

一般会計予算説明書

2010

平成22年度版

はじめに

町民の皆様には、日ごろより町政に対しご理解とご協力をいただき、厚くお礼を申し上げます。また、住みよいまちづくりに向けた主体的な諸活動に対しまして、深く敬意を表します。

さて、町では「第5次総合計画」、また「自治基本条例」にお示した「協働」を町民皆様との共有のキーワードとしたまちづくりを進めています。

町民の皆様をはじめ、町内の様々な団体や事業者の持つ潜在力が、協働により大きな力となって発揮されるよう、町が果たすべき役割に全力を傾けてまいります。

平成22年度も、第5次総合計画に掲げる5つの暮らしづくりに向けて、様々な事業を行ってまいります。その設計書とも言える予算書の概要を「知っておきたいことしのしごと」として作成しましたので、ご一読をお願いいたします。

町が取り組む事業をご理解いただくとともに、町民の皆様との相互理解を一層深め、よりよいまちづくりを進めるためにご利用いただければ幸いです。

最後に、本年度も町政へのご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。



平成22年4月

上富良野町長 向山 富夫

contents 目次

● 平成22年度 まちの予算

● この冊子の見方

1

I 人や地域とつながりのある暮らし

地域ぐるみで支え合う

健康・福祉コミュニティの実現

- 民生・児童委員協議会補助 1
- 社会福祉協議会補助 1
- 敬老祝い金 1

人・モノ・地域を結ぶ社会基盤の充実

- バスの運行（スクール・路線） 2

町民主体で成り立つ

コミュニティづくり

- 自治会活動の推進 2
- 広報かみふらの発行 2
- 青少年国内外交流 2
- 英語指導助手(AET)の招致 2
- カムローズ市への親善訪問 2

II 穏やかに安心して過ごせる暮らし

安心の暮らしを支える

福祉医療環境づくり

- 特別会計への負担 3
 - 国民健康保険特別会計への繰出
 - 老人保健特別会計への繰出
 - 後期高齢者医療特別会計への繰出
 - 介護保険特別会計への繰出
 - 病院事業会計負担
- 交通費の助成 3
- 救急医療の確保 3
- 緊急通報システムの更新 3
- 医療費給付 3
- 『ひよこ学級』の運営 4
- 在宅福祉の推進 4
- 障害者自立支援 4

のびのび子育てを支える

成長環境づくり

- 子育て支援センター事業 4
- 母子保健 4
- 子ども手当での支給 5
- 保育所の運営 5

本気・やる気が実を結ぶ産業づくり

- 道営土地改良事業などへの負担 6
 - 島津地区経営体育成基盤整備
 - 興農地区経営体育成基盤整備
 - 西山地区経営体育成基盤整備
 - 東中地区道営かんがい排水
- 農業用施設設置助成事業 6

- 農地・水・環境保全向上対策 6
- 【広域】「串内牧場」の運営 7
- しろがね土地改良区負担 7
- 農業関係資金対策 7
- 企業振興対策 7
- 商工振興事業補助 7
- かみふらの十勝岳観光協会補助 7

身近な生活の安全を支える

社会基盤の充実と環境保全

- 上・下水道の供給に必要な経費 8
- 【広域】し尿等処理施設の運営 8
- 合併浄化槽の整備 8
- ごみ・環境対策 8
- 本町4丁目1番通り改良舗装 9
- 街路灯の整備 9
- 町道の簡易舗装 9
- 道路側溝等整備 10
- 北19号道路改良舗装 10
- 東5線道路の改良 10
- 町道の維持管理 11
- 町道の除雪・排雪 11
- 人道跨線橋改築 11

生活の不安を取り除く

地域社会づくり

- くらしの安全対策 11
- 【広域】消防費 11
- 全国瞬時警報システムの整備 11
- 演習場関連の障害防止事業 12
 - 東1線排水路整備
 - 北24号排水路支線整備
 - 南部地区土砂流出対策

Ⅲ 快適で楽しく潤いのある暮らし

意欲と活力ある暮らしを導く 心づくり・身体づくり

- 予防費（健康診査、検診など） 13

生涯に潤いをもたらす学習環境づくり

- 図書館「ふれんど」運営費 13
- 公民館分館の運営 13
- 体育施設の管理 14
- スポーツの振興 14

憩いと安らぎを提供する 快適空間づくり

- 島津公園の整備 14
- 日の出公園の管理 14

楽しく便利な地域生活の実現

- パスポート申請窓口の設置 14
- 地域新IT活用・ビジネスの策定 14

Ⅳ 地域の宝を守り・育み・活用できる暮らし

いきがいある生活と 社会参加を支える福祉環境づくり

- 高齢者事業団運営補助 15
- いしすえ大学の運営 15
- 老人クラブ運営補助 15

たくましく、心豊かな 人間を育む成長・学習環境づくり

- 放課後子どもプラン 15
- 児童館の運営 15
- 上富良野高等学校振興対策 15
- 小中学校の管理運営 16
- 学校給食センターの運営 17
- 私立幼稚園就園奨励 17
- 私立幼稚園特別活動振興補助 17

担い手が輝き、地域の強みを 生かす産業づくり

- 農業・商工業担い手対策 17
- 観光諸行事負担 17

風土に調和した社会基盤・ 活動基盤づくり

- 吹上温泉地区の振興 18
- 町営住宅管理 18
- 町営住宅建設 18

まちの記憶が受け継がれ、 新たな知恵が芽吹くまちづくり

- 郷土館の管理 18
- 開拓記念館の管理 18

V 誇りと責任・役割を分かちあえる暮らし

- かみん(保健福祉総合センター)の運営 19
- 自衛隊基地対策 19

- ボランティアの町づくり 19

他 その他行政運営に係る経費

- 富良野広域連合（総務費用） 20
- 議会運営費 20
- 緊急雇用創出対策 20

- 新卒者の雇用対策 20
- 役場庁舎の耐震診断 20

資 資料編

- 予算の推移 21
- 家計にたとえると 22
- まちの貯金（基金） 25

- まちの借金（町債） 26
- くらべてみよう 27
- まちの財政指標 28

平成22年度 まちの予算

平成22年度の上富良野町各会計の予算は、次のとおりです。

会計名称		平成22年度 当初予算額	平成21年度 当初予算額	増 減
一 般 会 計		62億3,000万円	66億1,100万円	△3億8,100万円 (△5.8%)
特 別 会 計	国民健康保険特別会計	13億6,274万円	13億4,848万円	1,427万円 (1.1%)
	老人保健特別会計	656万円	1,211万円	△555万円 (△45.9%)
	後期高齢者医療 特別会計	9,681万円	9,084万円	597万円 (6.6%)
	介護保険特別会計	7億6,759万円	7億5,227万円	1,532万円 (2.0%)
	ラベンダーハイツ事業 特別会計	2億8,717万円	2億8,550万円	167万円 (0.6%)
	簡易水道事業特別会計	5,553万円	5,264万円	289万円 (5.5%)
	公共下水道特別会計	3億6,197万円	7億8,402万円	△4億2,205万円 (△53.8%)
公 営 企 業 会 計	病院事業会計	9億3,268万円	8億9,558万円	3,710万円 (4.1%)
	水道事業会計	2億6,408万円	4億2,311万円	△1億5,904万円 (△37.6%)
合 計		103億6,512万円	112億5,554万円	△8億9,042万円 (△7.9%)

※表内の各数値は、表示単位未満を四捨五入しています。

全会計の予算総額は前年度と比較して8億9千万円の減額となっています。これは平成21年度に行った補償金免除繰上償還の関係費用分（一般会計7千8百万円、下水会計4億1千6百万円、水道会計1億7千5百万円）の減少などが主な要因です。

この冊子の見方

本文、資料編共に一般会計について説明しています。特に表記のないものについては特別会計や企業会計を含みませんのでご注意ください。

事業名など

事業の担当、連絡先
ご不明な点などがありましたらご連絡ください

この事業にかかる経費

〇〇〇の推進

500万円

(□□□□課 □□□□班 Tel 45-6400)

国 200万円 一般財源 300万円

〇〇を推進するため、△△に対して補助などを行います

事業の説明

内容や目的をできるだけわかりやすく記載しています

事業に要する財源

この事業にあてる財源(収入)の内訳を記載しています。

一般財源：町税や交付税など使途に制限のない収入

国：国からの補助金や負担金

北海道：北海道からの補助金や負担金

分担金：事業により利益を受ける人や企業が負担する費用

借入金：町の借金

基金：町の貯金

その他：雑収入など

I

人や地域とつながりのある暮らし

つながりのある生活は心強さを、つながりのある産業活動は広がり、つながりのある町民活動は豊かさをもたらします。

それぞれが足りないものを補い合い、支え合い、良いところを伸ばし合いながら、より豊かな生活を送るため、人と人・人と地域・地域と地域など、さまざまな場面でつながりが発揮される暮らしの実現をめざします。

◆ 地域ぐるみで支え合う健康・福祉コミュニティの実現

民生・児童委員協議会補助 426 万円

(保健福祉課 福祉対策班 Tel 45-6987)

北海道 207万円 一般財源 219万円

厚生労働大臣・知事の委嘱を受けた民生・児童委員が、それぞれの地区で心配ごとの相談や支援活動を行っています。

町では32名(次期改選(H22/12月)より2名を増員します)の委員の報酬や活動費に対して補助を行います。

敬老祝い金 460 万円

(保健福祉課 福祉対策班 Tel 45-6987)

一般財源 460万円

喜寿(77歳)・米寿(88歳)・白寿(99歳)を迎えた高齢者に敬意を表し、祝い金(商品券)を贈ります。

喜寿(2万円)	155人
米寿(3万円)	45人
白寿(5万円)	3人

※H22年2月末現在

社会福祉協議会補助 2,170 万円

(保健福祉課 福祉対策班 Tel 45-6987)

一般財源 2,170万円

町社会福祉協議会の人件費などの運営費や、ふれあい広場事業など地域福祉の推進活動経費などに対して補助を行います。



◆ 人・モノ・地域を結ぶ社会基盤の充実

バスの運行(スクールバス・路線バス)

2,945 万円

(総務課 車両班 Tel45-6994、教育振興課 学校教育班 Tel45-6699)

北海道	96万円	バス料金	294万円	一般財源	2,555万円
-----	------	------	-------	------	---------

小中学校の遠距離通学児童生徒の安全な通学のため、スクールバスを運行しています。また、スクールバスの運行と同時に、日常生活の交通を確保するため、十勝岳線、江花島津線、東中線、清富線、里仁・江幌・静修線の各路線で児童生徒と地域住民の混乗方式で路線バスを運行しています。

◆ 町民主体で成り立つコミュニティづくり

自治会活動の推進

915 万円

(町民生活課 自治推進班 Tel45-6985)

一般財源	915万円
------	-------

自主的な自治活動と協働のまちづくりを推進するための補助金や、用途を限定しない交付金を交付します。

- ・自治活動奨励補助 100万円
- ・住民自治活動推進交付金 815万円

広報かみふらの発行

452 万円

(町民生活課 自治推進班 Tel45-6985)

広告収入	11万円	一般財源	441万円
------	------	------	-------

町民の皆さんに、わかりやく、素早く、正確に町の情報などをお伝えするため、「広報かみふらの」を発行し、ご家庭へお届けします。

青少年国内外交流

732 万円

(教育振興課 社会教育班 Tel45-5511)

基金	632万円	一般財源	100万円
----	-------	------	-------

かみふらのの将来を担う青少年を対象に、友好都市であるカナダ・カムローズ市との国際交流、三重県津市との国内交流を通じて、国際性豊かな人材の育成や開拓の歴史を学ぶ交流を進めます。平成22年度はカムローズ市へ24名の訪問団を派遣します。

英語指導助手(AET)の招致

389 万円

(教育振興課 学校教育班 Tel45-6699)

一般財源	389万円
------	-------

小中学生や未就学児をはじめ、町民が外国語とふれあい、学ぶ機会を設けるため、カナダから招いた英語指導助手(AET)による積極的な文化語学交流を行います。



カムローズ市への親善訪問

713 万円

(町民生活課 自治推進班 Tel45-6985)

基金	608万円	一般財源	105万円
----	-------	------	-------

カナダ・カムローズ市との友好都市提携25周年を記念して17名の親善訪問団を派遣します。



※「青少年国内外交流」「カムローズ市への親善訪問」にはいずれも「国内外交流推進基金」が充てられます。

元気に生まれ（てほしい）、健やかに成長し（てほしい）、豊かな生活を送りたい（送ってほしい）、これはみんなの願いです。

生きていくうえでの不安を一つひとつ解決しながら、穏やかで安心に包まれた生涯を送ることができる暮らしの実現をめざします。

◆ 安心の暮らしを支える福祉医療環境づくり

特別会計への負担 1億1,299 万円

（町民生活課 総合窓口班 Tel45-6985）

国民健康保険特別会計 1億1,299万円

国	474万円	一般財源	7,659万円
北海道	3,166万円		

出産育児一時金、人件費、保険基盤の安定に対して一般会計から負担します。

老人保健特別会計 5万円

一般財源	5万円
------	-----

老人保健の役割は後期高齢者医療制度へ引き継がれました。今年度中にすべて清算され、制度の移行が完了します。

後期高齢者医療特別会計 1億4,263万円

北海道	2,122万円	一般財源	1億2,141万円
-----	---------	------	-----------

医療給付費や事務費の一部を一般会計から負担します。

（保健福祉課 介護保険班 Tel45-6987）

介護保険特別会計 1億4,119万円

一般財源	1億4,119万円
------	-----------

介護給付費や事務費の一部を一般会計から負担します。

（町立病院 Tel45-3171）

病院事業会計 2億4,475万円

一般財源	2億4,475万円
------	-----------

地域医療の確保と安定的な病院経営のため、一般会計から経費の一部を負担します。

交通費の助成 382 万円

（保健福祉課 福祉対策班 Tel45-6987）

一般財源	382万円
------	-------

人工透析による治療や特定疾患治療のため町外の病院へ通院する方の交通費や、重度の障害者のタクシー乗車に対して補助を行います。

- ・通院費の助成 250万円
- ・タクシー乗車（初乗り相当） 132万円

救急医療の確保 610 万円

（保健福祉課 健康推進班 Tel45-6987）

一般財源	610万円
------	-------

上富良野町の救急医療は町立病院が担っていますが、重篤な疾患の救急医療体制については富良野市や旭川市の医療機関などと連携し、その確保に努めています。



防衛事業

緊急通報システムの更新 420 万円

（保健福祉課 介護保険班 Tel45-6987）

国	380万円	一般財源	40万円
---	-------	------	------

耐用年数を経過した緊急通報システムの本体（センター装置）を更新します。

「特定防衛施設周辺整備調整交付金」を活用した事業です

医療費給付 6,972 万円

（町民生活課 総合窓口班 Tel45-6985）

北海道	2,981万円	一般財源	3,291万円
その他	700万円		

乳幼児・ひとり親家庭等・重度心身障害者の健康の保持と福祉の増進を図るため、医療費の一部を助成します。

- ◆重度心身障害者医療 3,108万円
- ◆ひとり親家庭等医療 664万円
- ◆乳幼児医療 3,200万円

**発達支援センター
『ひよこ学級』の運営****4,389 万円**

(保健福祉課 子育て支援班 Tel45-6987)

北海道	207万円	その他	1,587万円
中富良野町	550万円	一般財源	2,045万円

発達支援センター『ひよこ学級』では、子どもの発達に関する相談や、親子のふれあいを通じた発達支援、発達に応じた個別指導、一時あずかりなど、子どもの力が大きく伸びる大切な時期を支援します。

(中富良野町と共同で事業を実施しています)

在宅福祉の推進**942 万円**

(保健福祉課 介護保険班 Tel45-6987)

利用者負担	397万円	一般財源	545万円
-------	-------	------	-------

在宅の寝たきり高齢者や在宅障害者、その家族の生活を支援するため、さまざまな保健福祉サービスを提供します。

夕食の配送	227万円
通院時などの移送	233万円
除雪サービス	169万円
緊急通報システムの保守	210万円
おむつ購入費助成	56万円

など

障害者自立支援**2億1,267 万円**

(保健福祉課 福祉対策班 Tel45-6987)

国	9,802万円	分担金	63万円
北海道	5,015万円	一般財源	6,387万円

障害者自立支援法に基づき、障害のある方が自立した生活を営むため総合的な支援を行います。

- ・介護給付 1億7,850万円
- ・補装具・日常生活用具 639万円
- ・自立支援医療 1,105万円
- ・地域生活支援 1,045万円 など

障害者福祉サービス事業者補助

町内に障害者福祉サービス施設を開設する事業者、施設の借上経費や改修などにかかる初期費用を補助する制度が新設されます。

160万円

**◆ のびのび子育てを支える成長環境づくり****子育て支援センター事業****1,625 万円**

(保健福祉課 子育て支援班 Tel45-6987)

北海道	499万円	その他	78万円
		一般財源	1,048万円

子育て支援センター『にこにこ』では、就学前の親子を対象に保育士が育児相談やあそびの場の提供、楽しい行事を通じた親子のふれあいなど、さまざまな子育て支援を行います。

【ご利用下さい】

ファミリー・サポート・センターの運営

子どもの一時的な預かりや送迎など、子育ての援助が必要な方と援助を行い方を結びつけるファミリー・サポート事業がはじまります。詳しくは子育て支援センター(45-6501)又は子育て支援班までお問い合わせください。

母子保健**947 万円**

(保健福祉課 健康推進班 Tel45-6987)

国	29万円	基金	300万円
北海道	218万円	一般財源	400万円

妊娠から周産期の健診、健康相談などにより、疾病や障害の早期発見・早期治療につなげます。

- ・妊婦健康診査(14回)助成
- ・助産師による妊娠期の学習推進
- ・生後4か月までの全戸訪問事業
- ・乳幼児健康診査 など

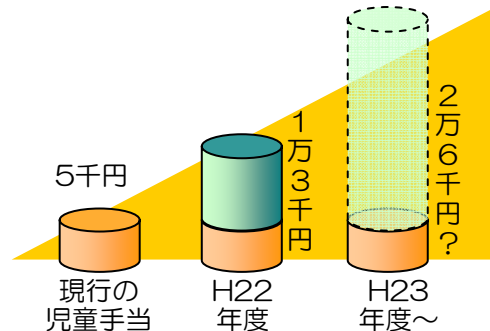
子ども手当への支給

1億1,596 万円

(町民生活課 総合窓口班 Tel.45-6985)

国	8,702万円	北海道	1,425万円	一般財源	1,469万円
---	---------	-----	---------	------	---------

国による「子ども手当」政策が今春開始されます。現在の児童手当では対象外だった中学生まで支給対象が拡大され、初年度は子ども一人当たり月額1万3千円が支給されます。支給にかかる財源は、国が全額負担（右図緑色の部分）することとなっています。



保育所の運営

2億1,023 万円

共働き世帯やひとり親世帯などの0～5歳の乳幼児を保育し、遊びを通して言葉や生活などさまざまな面での成長を支えます。

◆町立中央保育所

(保健福祉課 保育所 Tel.45-2074)

8,600 万円

国	10万円	保育料など	3,222万円	北海道	96万円	一般財源	5,272万円
---	------	-------	---------	-----	------	------	---------

- 入所定員 90人
- 保育所の運営経費
 - 人件費など 7,121万円
 - 教材など消耗品 115万円
 - 給食材料費 635万円
- 保育所施設の管理経費
 - 光熱水費や用務員業務の委託など 729万円



◆私立保育所の運営

(保健福祉課 子育て支援班 Tel.45-6987)

1億2,312 万円

国	4,024万円	北海道	2,025万円	保育料	3,234万円	一般財源	3,029万円
---	---------	-----	---------	-----	---------	------	---------

町内2か所の私立保育園（わかば愛育園、上富良野西保育園）の運営費の一部を、法律に基づいて国、北海道、町が負担します。

	わかば愛育園	上富良野西保育園
● 入所定員	60人	45人
● 運営費	5,945万円	5,570万円
● 障害児保育	338万円	165万円
● 一時・特定保育	78万円	77万円
● 延長保育	80万円	60万円

◆保育所の広域入所

(保健福祉課 子育て支援班 Tel.45-6987)

111 万円

生活や仕事の都合によりやむを得ない場合は、住んでいる市町村以外の保育所が利用可能です（広域入所制度）。

上富良野町に住んでいる幼児が他市町村の保育所を利用する場合には、入所先の市町村へ費用を負担します。

国	29万円
北海道	15万円
保育料	34万円
一般財源	33万円

◆ 本気・やる気が実を結ぶ産業づくり

道営土地改良事業などへの負担

4,259 万円

(産業振興課 農業振興班 Tel45-6984)

経営体育成基盤整備事業

3,063万円

将来の農業生産を担う、効率的で安定した経営体（担い手）を育成するため、暗渠・ほ場・用水路・排水路整備などの土地改良事業を北海道が主体となって実施します。育成した担い手が優良農地を将来にわたり適切に維持・保全することで、食料自給率を向上させることなどを目的としています。

事業にかかる経費は国や道、市町村や受益者がそれぞれ決められた割合で負担します。

◆ 島津地区 409万円
区画整理 (8.0ha)

北海道	208万円	一般財源	21万円
借入金	180万円		

◆ 興農地区 1,662万円
客土 (7.7ha)
排水路 (730m)
用水路 (170m)
暗きょ (11.0ha)

北海道	633万円	基金	140万円
借入金	740万円	一般財源	149万円

※H21年度からの繰越分525万円を含みます

◆ 西山地区 205万円
実施設計一式

北海道	96万円	一般財源	19万円
借入金	90万円		

道営かんがい排水事業

1,196万円

北海道	543万円	借入金	590万円	基金	30万円	一般財源	33万円
-----	-------	-----	-------	----	------	------	------

農作物の生育に豊かな水が不可欠です。かんがい排水事業は農業用水を農地へ運ぶ用水路や排水路を整備する事業で、その費用は国や道、市町村や受益者がそれぞれ決められた割合で負担します。

◆ 東中地区 1,196万円
実施設計一式農業用施設
設置助成事業

防衛事業

1億3,077 万円

(産業振興課 農業振興班 Tel45-6984)

国	1億3,077万円	一般財源	-
---	-----------	------	---

防衛省の補助を受け、JAふらのが農業用機械を導入する事業で、事業費の2/3の補助を町が受け、町からJAふらのへ助成を行います。

今年度は大豆コンバイン12台、運搬トラクター7台、ロールバレー2台を導入します。

農地・水・環境
保全向上対策

1,304 万円

(産業振興課 農業振興班 Tel45-6984)

北海道	21万円	一般財源	983万円
基金	300万円		

水路補修・草刈り・土砂上げなど、農業農村環境向上にむけた地域の取り組みに対して、国・北海道・町が支援します。

【広域連合事業】
「串内牧場」の運営

1,424 万円

(産業振興課 農業振興班 Tel45-6984)

一般財源 1,424万円

富良野広域連合が南富良野町で運営する公共牧場「串内牧場」で、肉牛・乳牛の預かり放牧や粗飼料の供給などを行い、牧場経営の安定化を促進します。



企業振興対策

9,995 万円

(産業振興課 商工観光班 Tel45-6983)

中小企業の振興 9,120万円

返還金 8,900万円 一般財源 220万円

中小企業の安定的な経営を促進するため、短期的な資金の貸付けや利子助成を行います。

資金の貸付け 8,900万円
利子補給など 220万円

企業振興補助 875万円

一般財源 875万円

企業の立地を促進するため、工場を新増設するなどした企業に対し、新規雇用や固定資産税、借入利子を助成します。

固定資産税助成 749万円
雇用助成 105万円
利子助成 21万円

商工振興事業補助

1,698 万円

(産業振興課 商工観光班 Tel45-6983)

一般財源 1,698万円

商工業者の経営基盤の向上と安定化を進めるため、商工会に対して人件費や経営改善事業、地域振興事業、空き店舗活用事業などに補助を行います。

しろがね土地改良区負担 1億3,999 万円

(産業振興課 農業振興班 Tel45-6984)

基金	2,000万円	償還金	665万円
一般財源	1億1,334万円		

平成15年度に完成した、しろがね地区の国営土地改良事業の負担金です。

負担期間は平成15～29年度で、21年度までに8億4千万円、22～29年度で10億7千万円を負担します。

償還金 1億3,171万円
円滑化資金 665万円
など

農業関係資金対策

1,101 万円

(産業振興課 農業振興班 Tel45-6984)

利子補給 1,075万円

北海道	606万円	一般財源	469万円
-----	-------	------	-------

認定農業者が行う計画的な経営改善に必要な資金の利子の一部を助成し、安定した経営への転換を支援します。

資金貸し付け 2,652万円

返還金	2,652万円	一般財源	-
-----	---------	------	---

○営農改善資金・・・生産振興事業や火山灰客土、かん水施設などを対象にゼロ金利の資金を融資し、支援します。

○農業振興資金・・・農業施設の増改築、機械施設の導入、基盤整備などに対して低金利の資金を融資し、支援します。

かみふらの十勝岳観光協会補助 1,186 万円

(産業振興課 商工観光班 Tel45-6983)

一般財源 1,186万円

観光協会が行う観光宣伝事業、案内所の設置、人件費などに対して補助を行います。



◆ 身近な生活の安全を支える社会基盤の充実と環境保全

上・下水道の供給に必要な経費

1億8,458 万円

(建設水道課 上下水道班 Tel45-6982)

●水道事業への負担 1,117 万円

一般財源 1,117万円

水道事業会計では一層安全で良質な水道水を安定的に供給するため、水質の維持や施設の更新などを行っています。

一般会計からは施設整備に要した借入金の償還費などの一部を負担します。

●下水道事業への負担 1億843 万円

一般財源 1億843万円

公共下水道事業の運営費は、使用料や分担金などでまかなうことを原則としていますが、施設整備に要した借入金の償還費などの一部や費用の不足分は一般会計が負担します。

●簡易水道事業への負担 3,996 万円

一般財源 3,996万円

借入金の償還費などの一部を一般会計から負担します。

●飲料水供給施設の管理 503 万円

使用料	66万円	一般財源	365万円
その他	72万円		

旭野地区、清富地区、翁地区などに安全で良質な飲料水を供給するため、給水設備の維持管理や水質の維持に努めます。

※H21年度の繰越により中の沢飲料水供給施設の外構・設備の修繕を行います(300万円)。

【広域連合事業】
し尿等処理施設の運営負担 9,072 万円

(町民生活課 生活環境班 Tel45-6985)

一般財源 9,072万円

家庭から排出される生ゴミやし尿、浄化槽の汚泥などは、富良野広域連合が運営する「環境衛生センター」に運ばれ、適切な処理が行われます。町では、センターの管理費や建設費に対して費用を負担します。

合併浄化槽の整備 1,998 万円

(町民生活課 生活環境班 Tel45-6985)

国	235万円	一般財源	1,763万円
---	-------	------	---------

公共下水道の処理区域とならない地域の住民が合併浄化槽を設置するときは、設置費用の一部に対して助成を行います。本年度は5人槽20基分の助成を予定しています。

ごみ・環境対策

1億6,632 万円

(町民生活課 生活環境班 Tel45-6985)

ごみ処理施設(クリーンセンター)では、家庭から排出されるごみのうち、可燃ごみと不燃ごみ、粗大ごみや空き瓶、空き缶、ペットボトル等を収集し、焼却処理や再資源化処理、埋め立て処理を行います。

ごみの減量化、資源化を進めるためにも、適正なごみの分別をお願いします。

・クリーンセンター管理経費

1億1,615万円

・ごみ収集経費

4,324万円

・ごみ袋経費

465万円

など



手数料	3,563万円
他市町村負担	3,013万円
資源売払いなど	140万円
ごみ袋広告料	5万円
一般財源	9,911万円

防衛事業

本町4丁目1番通り
改良舗装

4,177 万円

(建設水道課 建設班 Tel45-6981)

国	3,750万円	一般財源	427万円
---	---------	------	-------

簡易舗装が施されているために冬期間の凍結などで路面に段差ができるなど、人車の通行に障害のある市街地の路線について、平成23年度までの2カ年間で路盤改良・舗装工事を進める予定です。
平成22年度は本町4丁目1番通りの整備を実施します。

- ・測量調査・実施設計 延長=370m
 - ・改良舗装工事 延長=195m
- 「特定防衛施設周辺整備調整交付金」を活用した事業です。
【地図①】

街路灯の整備

512 万円

(建設水道課 建設班 Tel45-6981)

一般財源	512万円
------	-------

交差点などの街路灯を整備し、自動車や歩行者の夜間の安全な通行や防犯をすすめます。

- ・道道吹上上富良野線 12灯【地図②】
- ・北基線 8灯【地図③】

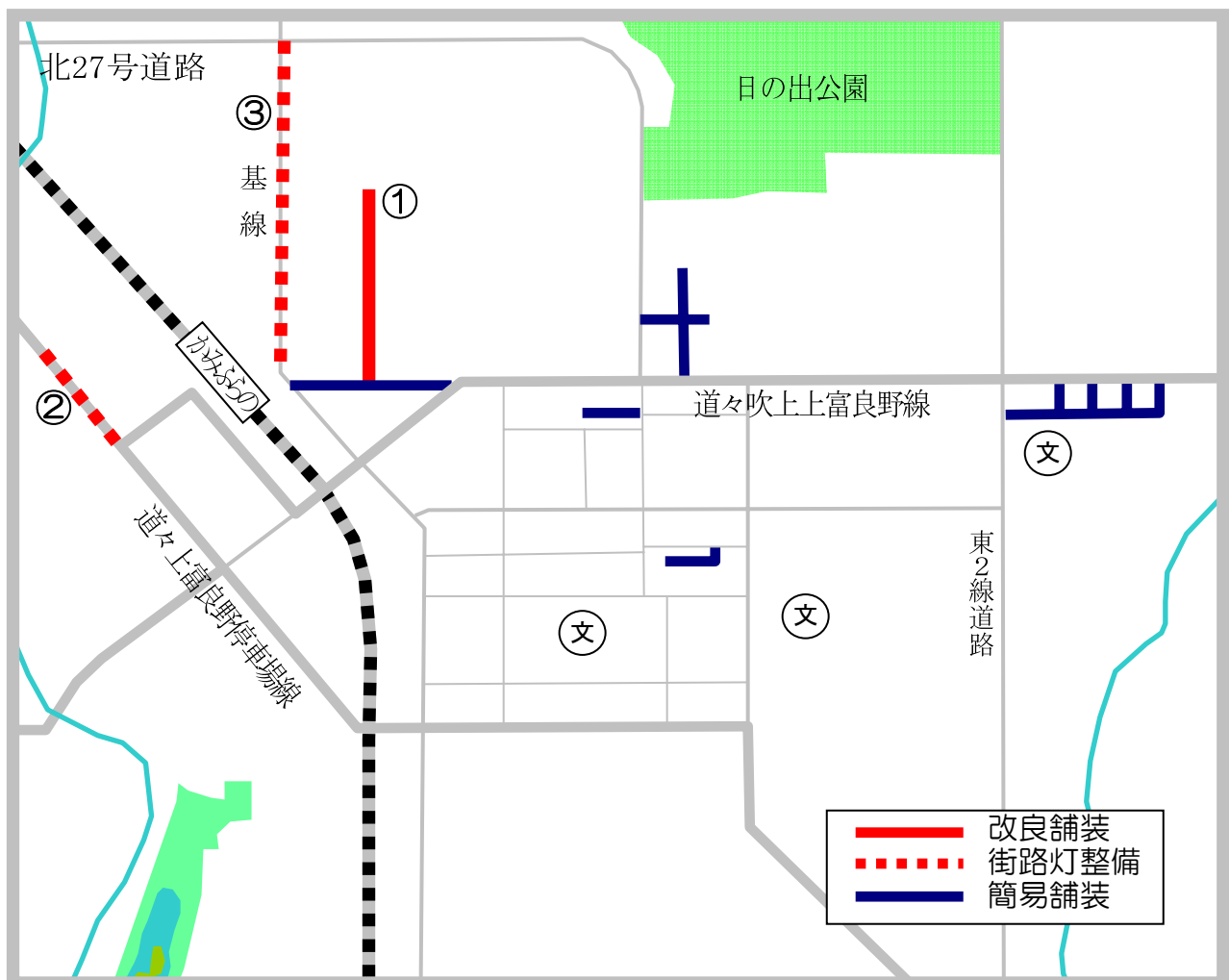
町道の簡易舗装

3,231 万円

(建設水道課 建設班 Tel45-6981)

国	3,231万円	一般財源	-
---	---------	------	---

損傷した市街地の町道10路線の簡易舗装を、「きめ細かな臨時交付金(20ページ参照)」を活用して実施します。



道路側溝等整備

防衛事業

1,007 万円

(建設水道課 建設班 Tel45-6981)

国	900万円	一般財源	107万円
---	-------	------	-------

整備されていない、または壊れている道路側溝や排水路を、コンクリートトラフによって補修、整備します。

平成22年度は前年に引き続き、防衛省の補助（特定防衛施設周辺整備調整交付金）を活用して2地区を整備します。

- ・ 富原地区排水路整備工事【地図①】
トラフ布設工事 延長=135m
- ・ 北18号道路側溝整備工事【地図②】
トラフ布設工事 延長=134m

北19号道路改良舗装

防衛事業

5,339 万円

(建設水道課 建設班 Tel45-6981)

国	3,203万円	一般財源	2,136万円
---	---------	------	---------

自衛隊演習場へ繋がる路線であるため頻繁に大型車輛が通行し、路面の損傷が著しくなっています。

この路線は一般車輛も多く通行するため、平成24年度までの予定で防衛補助を受け、路盤改良を実施します。【地図④】

(平成22年度)
改良舗装工事 延長=980m、幅=5.5m、用地買収

東5線道路の改良

2,200 万円

(建設水道課 建設班 Tel45-6981)

借入金	1,980万円	一般財源	220万円
-----	---------	------	-------

平成3年度より、道幅が狭く未舗装で、車輛の通行に障害のあった東5線道路の改良工事を進めていましたが、本年度の舗装工事をもって完成する予定です。

(平成22年度)
舗装工事 延長=530m、幅=5.5m
【地図③】



町道の維持管理

5,393 万円

(建設水道課 建設班 Tel45-6981)

使用料等	527万円	一般財源	4,866万円
------	-------	------	---------

安全な道路網を維持するための管理・点検・補修工事などを行います。

補修工事	2,088万円
砂利・火山灰など	600万円
街路灯の電気料	657万円
重機・車両経費	1,787万円 など

※除排雪車輛の経費も含まれています。

町道の除雪・排雪

5,482 万円

(建設水道課 建設班 Tel45-6981)

一般財源	5,482万円
------	---------

冬期間の安全な交通を確保するため、町道の除雪、排雪を行います。

除雪作業はおおむね12cmの降雪を基準に出動し、通学・通勤路などの幹線から順に作業を行いますのでご理解とご協力をお願いします。

人道跨線橋改築

3,003 万円

(建設水道課 建設班 Tel45-6981)

一般財源	3,003万円
------	---------

JR上富良野駅の西側と東側を結ぶ人道橋は、昭和58年の建設から25年が経過し、階段部分の腐食など老朽化が著しいため、平成21年度より補修工事に着手しています。

本年度は通路部分の補修を行います。工事中は通行止めとなりご不便をおかけしますが、利用者の安全確保のためご協力をお願いいたします。



◆ 生活の不安を取り除く地域社会づくり

くらしの安全対策

895 万円

(町民生活課 生活環境班 Tel45-6985)

一般財源	895万円
------	-------

交通安全や防犯、青少年の健全育成などを推進する生活安全推進協議会への負担、生活灯への補助などにより、生活安全意識の普及、向上に取り組めます。

- ・ 上富良野町生活安全推進協議会負担 377万円
- ・ 生活灯電気料補助 436万円
- ・ 消費者問題対策 83万円

【広域連合事業】
消防費

2億6,008 万円

(総務課 総務班 Tel45-6400)

一般財源	2億6,008万円
------	-----------

上富良野消防署と広域連合消防本部に係る人件費や装備費などの経費を負担します。



【繰越事業】

ジェイアラート

全国瞬時警報システム(J-ALERT)の整備

802 万円

(総務課 総務班 Tel45-6400)

国	802万円	一般財源	-
---	-------	------	---

地震や風水害、外部からの武力攻撃などの情報を、国から住民まで現在の防災行政無線を通じて瞬時に伝える全国瞬時警報システム(J-ALERT)を整備します。

演習場関連の障害防止事業

防衛事業

1億6,632 万円

(建設水道課 建設班 Tel.45-6981)

東1線排水路整備 6,243万円

国	6,243万円	一般財源	-
---	---------	------	---

駐屯地及び流域内からの洪水被害の防止のため、排水路の改修工事を平成18年より実施し、本年度内の完成に向け事業を進めています。

【地図①】

北24号排水路支線整備 8,248万円

国	8,248万円	一般財源	-
---	---------	------	---

演習場及び流域内からの洪水被害・土砂流出被害を防ぐため、排水路の整備やダムを設置など、平成17年度より整備事業を実施し、本年度内の完成に向けて工事を進めています。

【地図②】

南部地区土砂流出対策 9,362万円

国	9,362万円	一般財源	-
---	---------	------	---

演習場内を流れるベベルイ川の、魚など水生生物の生態系確保や、演習場からの土砂流入被害を防ぐため、魚道や砂防施設の整備を平成16年度から開始し、本年度内の完成に向けて工事を進めています。

【地図③】



快適で楽しく潤いのある暮らし

快適な日々の生活を送るには、それをかなえる身近な楽しさや便利さが
必要です。また、さまざまな町民活動が活発に行われ、生活の潤いへとつ
なげるためには、明日への意欲や活力を見出す機会づくりが必要です。
心に張りがあり、快適で楽しく潤いのある暮らしの実現をめざします。

◆ 意欲と活力ある暮らしを導く心づくり・身体づくり

予防費(健康診査、検診など)

2,652 万円

(保健福祉課 健康推進班 Tel.45-6987)

国	115万円	北海道	96万円	受診料等	221万円	一般財源	2,220万円
---	-------	-----	------	------	-------	------	---------

◆ 予防接種費

伝染の恐れのある疾病予防や蔓延防止の
ために予防接種を実施します。

- ・乳幼児、学童、生徒の予防接種
- ・高齢者の肺炎球菌ワクチン接種
- ・高齢者のインフルエンザ予防接種
- ・低所得世帯への小児任意予防接種費助成
など



◆ がん検診

日本人の死因の多くを占めるがんの、正
しい知識の普及活動や検診を行うことで
早期発見を促し、がん死亡の減少に向け
て取り組みます。

女性特有のがん検診推進事業

女性特有の乳がん、子宮頸がんの検診を
促すため、一定年齢に達した女性に対し
て検診費用を補助します。

◆ 健康増進(「健康かみふらの21」の推進)

健康指導や栄養指導、講習会の開催、健
診の実施などを通じて「健康かみふらの
21」を推進し、生活習慣病の予防に取り
組みます。

◆ 結核検診

結核の早期発見と蔓延防止のため、検診
を行います。

◆ 生涯に潤いをもたらす学習環境づくり

図書館「ふれんど」運営費 672 万円

(教育振興課 社会教育班 Tel.45-5511)

一般財源	672万円
------	-------

情報の電子化が進み世代を問わず活字離
れが進んでいます。町ではさまざまな活
動を通じて町民が図書に親しめる環境づ
くりを目指しています。

蔵書数(H22/2月末現在)

一般書	24,517 冊
児童書	14,712 冊
その他	2,876 冊
合計	42,105 冊

※うち約3万8,500冊が常時貸し
出し可能です



公民館分館の運営

568 万円

(教育振興課 社会教育班 Tel.45-5511)

一般財源	568万円
------	-------

公民館分館の施設管理と、各種行事・講
座など11分館における活動に対して補助
を行います。

・施設管理費	453万円
・活動補助	115万円

体育施設の管理

5,184 万円

(教育振興課 社会教育班 Tel45-5511)

使用料など	237万円	一般財源	4,947万円
-------	-------	------	---------

町民の健全なスポーツの普及とコミュニティ活動の育成を図り、健康の増進と生活文化の向上に寄与するため、さまざまな体育施設を管理・運営します。

- ・社会教育総合センター 2,326万円
- ・武道館 14万円
- ・B&G海洋センター 952万円
- ・島津球場 44万円
- ・富原運動公園 200万円
- ・スキーリフト 1,235万円
- ・パークゴルフ場 413万円

スポーツの振興

364 万円

(教育振興課 社会教育班 Tel45-5511)

一般財源	364万円
------	-------

町民の健康づくりとコミュニティの活性化のため、スポーツ大会の開催や指導者・関係団体の育成活動に対して補助などを行います。

- ・体育指導委員活動費 69万円
- ・大会開催など 295万円

※このほか、H21からの繰越事業で富原球場外野フェンスの整備(870万円)を実施します。

◆ 憩いと安らぎを提供する快適空間づくり

島津公園の整備

防衛事業

3,713 万円

(建設水道課 建設班 Tel45-6981)

国	3,150万円	一般財源	563万円
---	---------	------	-------

町民誰もが気軽に訪れ、利用できる公園づくりを目指し、整備を進めます。

平成22年度は幼児から高齢者まで幅広い層が集い、楽しめる大型遊具を設置します。



※イメージ図

日の出公園の管理

2,356 万円

(建設水道課 建設班 Tel45-6981)

一般財源	2,356万円
------	---------

町の観光の拠点として、利用者の利便性の向上や良好な景観の提供などの環境整備、管理を行います。

- ・管理委託(公園) 1,611万円
- ・〃(キャップ場) 241万円
- ・ラベンダーの植栽 300万円
- ・駐車場トイレの塗装 149万円
- など

※「特定防衛施設周辺整備調整交付金」を活用した事業です。

◆ 楽しく便利な地域生活の実現

パスポート申請窓口の設置

30 万円

(町民生活課 総合窓口班 Tel45-6985)

一般財源	30万円
------	------

平成22年7月より、役場窓口でパスポートの交付申請ができるようになりますのでご利用下さい。

- ・受付用端末の借上 30万円

地域新エネルギー
ビジョンの策定

610 万円

(町民生活課 生活環境班 Tel45-6985)

その他	600万円	一般財源	10万円
-----	-------	------	------

新エネルギー開発関連機構の助成を受けて、上富良野の地域特性を活かした新エネルギーの導入・普及のためのビジョンを策定します。

上富良野には、人、モノ、恵まれた自然や景観をはじめ、培われてきた歴史、伝統、知恵など、さまざまな地域の宝があります。そしてそれぞれの宝が持っている個性や特性に応じて守り、継承し、育み、日々の生活や活動に生かしていくことができる暮らしの実現をめざします。

◆ いきがいある生活と社会参加を支える福祉環境づくり

高齢者事業団運営補助 424 万円

(保健福祉課 福祉対策班 Tel45-6987)

一般財源	424万円
------	-------

高齢者の経験、能力を活かした労働環境を整え、勤労意欲を高めるため、高齢者事業団の運営費に対して補助を行います。

老人クラブ運営補助 123 万円

(保健福祉課 福祉対策班 Tel45-6987)

北海道	62万円	一般財源	61万円
-----	------	------	------

老人クラブの活動を通じて高齢者の生きがいや健康づくりなどを推進します。

- ・単位老人クラブ(13クラブ)補助 77万円
- ・老人クラブ連合会補助 46万円

いしずえ大学の運営 250 万円

(教育振興課 社会教育班 Tel45-5511)

一般財源	250万円
------	-------

「いしずえ大学」では、クラブ活動や研修など、さまざまな活動、学習を通して高齢者のまなびの輪を広げます。



◆ たくましく、心豊かな人間を育む成長・学習環境づくり

放課後子どもプラン 1,639 万円

(教育振興課 社会教育班 Tel45-5511)

経験豊かな20名の指導員がさまざまな遊びやふれあい活動の場を設けることで、放課後における子ども達の安全な居場所づくりと心身の健全な発達を促します。

北海道	1,030万円
利用料	93万円
一般財源	516万円



事業名	対象	年間登録費
放課後スクール	小1～小6	1,200円
みんなで遊ぼう	小1～小6	200円
放課後クラブ	小1～小3	12,000円

児童館の運営 944 万円

(保健福祉課 子育て支援班 Tel45-6987)

一般財源	944万円
------	-------

東児童館、西児童館を運営し、児童に健全な遊び場を提供することで健康を増進し、情操豊かな成長を促します。

上富良野高等学校振興対策 277 万円

(教育振興課 学校教育班 Tel45-6699)

一般財源	277万円
------	-------

教育振興会における振興事業(入学準備金補助、資格取得補助等)に対して補助を行い、上富良野高校の存続維持と振興に取り組めます。

小中学校の管理・運営

(教育振興課 学校教育班 TEL45-6699)

町では小学校4校（上富良野小学校、西小学校、東中小学校、江幌小学校）、中学校2校（上富良野中学校、東中中学校）を設置し、町の将来を担う児童生徒の健全な育成をすすめます。

管理運営費 7,537万円

国	277万円	使用料など	82万円
		一般財源	7,178万円

主に校舎の維持管理などに要する費用です。

※H21の繰越事業で学校遊具の安全性を高めるための大規模な修繕を行います。（340万円）

児童・生徒就学助成 1,096万円

国	76万円	一般財源	1,020万円
---	------	------	---------

経済的な理由で小中学校の児童生徒の教育環境に影響を及ぼさないよう、就学に必要な費用に対して援助を行います。

学習活動費 2,140万円

一般財源	2,140万円
------	---------

学習用資材・教材の整備など、児童生徒の学習環境を整えます。

特別支援教育 389万円

一般財源	389万円
------	-------

障害のある児童生徒の自立や社会参加に向け、一人一人に適合した教育を実践することで、生活や学習上の困難を改善できるよう、支援を行います。

	学校名	児童生徒数	学級数	管理運営費	学習活動費	就学助成	特別支援教育
小学校	上小	489人	20学級	1,701万円	416万円	652万円	389万円
	西小	151人	9学級	929万円	220万円		
	東中小	13人	3学級	654万円	156万円		
	江幌小	14人	4学級	430万円	168万円		
	共通	-	-	950万円	384万円		
中学校	上中	309人	13学級	1,781万円	410万円	444万円	-
	東中中	15人	3学級	599万円	122万円		
	共通	-	-	493万円	265万円		

校舎の耐震診断 502万円

国	167万円	一般財源	335万円
---	-------	------	-------

老朽化が進む校舎などの耐震度診断を行います。

- ・東中小学校校舎 263万円
- ・東中中学校校舎 239万円

教育用コンピュータ整備 893万円

国	800万円	一般財源	93万円
---	-------	------	------

国による小中学校のコンピュータ教育推進方針に基づき、本年度は西小学校で42台のコンピュータや教育機器を更新します。

※「特定防衛施設周辺整備調整交付金」を活用した事業です。

**小中学校の整備・補修** 445万円

一般財源	445万円
------	-------

安全で適切な学習環境を整えるため、校舎の整備などを行います。

本年度は江幌小学校の校舎と講堂の屋上防水を補修を実施します。

【広域連合事業】学校給食センターの運営

4,644 万円

(教育振興課 学校教育班 Tel45-6699)

一般財源 4,644万円

安全で質の高い学校給食を提供するとともに、町の食育推進計画に基づいた指導を進めます。



私立幼稚園就園奨励

1,478 万円

(教育振興課 学校教育班 Tel45-6699)

国 369万円 一般財源 1,109万円

幼稚園への就園に対する経済的負担を軽減するため、保護者の所得状況に応じて保育料の一部を補助します。

私立幼稚園特別活動
振興補助

250 万円

(教育振興課 学校教育班 Tel45-6699)

一般財源 250万円

私立幼稚園（高田幼稚園）の特別活動（延長保育や職員研修など）に対して補助を行います。

◆ 担い手が輝き、地域の強みを生かす産業づくり

担い手の育成

564 万円

(産業振興課 農業振興班 Tel45-6984)

農業担い手対策 516万円

一般財源 516万円

農業を支える担い手を育成・確保するため、新規に就業する農業後継者に「担い手サポート奨励金」を交付します。

また、アグリパートナー協議会等が実施するパートナー募集事業（花嫁対策事業）に対して補助を行います。

- ・担い手サポート奨励金 192万円
- ・アグリパートナー協議会 74万円
- ・新規就農者誘致補助 250万円 など

(産業振興課 商工観光班 Tel45-6983)

商工業担い手対策 48万円

一般財源 48万円

商工業を支える担い手を育成・確保するため、新規に就業する商工業の後継者に「担い手サポート奨励金」を交付します。

観光諸行事負担

655 万円

(産業振興課 商工観光班 Tel45-6983)

一般財源 655万円

商工振興と観光客誘致を目指す「四季彩イベント」に係る経費の一部を、各イベントの運営委員会に対して負担します。

- ◆花と炎の四季彩まつり 560万円
- ◆かみふらの雪まつり 60万円
- ◆北の大文字 35万円



◆ 風土に調和した社会基盤・活動基盤づくり

吹上温泉地区の振興

1億2,526 万円

(産業振興課 商工観光班 Tel45-6983)

吹上地区の振興・保全を図るための整備費用や源泉に係る経費です。

- ・吹上地区の整備保全 262万円
- ・白銀荘運営費 396万円
- ・白銀荘改修費 1億1,868万円

老朽化が進む白銀荘の改修を、平成25年度までの年次計画で進めます。

平成22年度は省エネによる温暖化対策の一環として、温泉熱を利用した暖房給湯設備（ヒートポンプ）と、館内照明の一部をLED照明へ切り替えます。



事業の実施には十勝岳地区振興基金などを活用します

町営住宅管理

1,941 万円

(町民生活課 生活環境班 Tel45-6985)

一般財源	1,941万円
------	---------

住宅に困窮している町民へ良好な住環境を提供するため、428戸（H22年3月現在）の町営住宅の維持管理を適切に行います。

- ・維持修繕料 590万円
- ・火災保険料 64万円
- ・除雪委託 80万円
- ・環境整備 160万円
- ・西町団地通路補修 158万円 など

◆ 屋根・外壁修理（889万円）

損耗の激しい富町団地の屋根と外壁の改修（2棟8戸）、東中団地の屋根塗装（1棟2戸）などを行います。

町営住宅建設

1億9,328 万円

(町民生活課 生活環境班 Tel45-6985)

国	8,651万円
借入金	5,500万円
一般財源	5,177万円

現在、建替え工事が進められている富町団地（富町2丁目）の9号棟（10戸）の建設工事を実施します。

富町団地は本年度をもって建替えが完了する予定です。



◆ まちの記憶が受け継がれ、新たな知恵が芽吹くまちづくり

郷土館の管理

52 万円

(教育振興課 社会教育班 Tel45-5511)

一般財源	52万円
------	------

郷土文化や歴史に対する町民の理解を深めるため、郷土館を運営しています。

また、町の文化財を次の世代に引き継ぐため、適正な保存・保護を行います。

開拓記念館の管理

80 万円

(教育振興課 社会教育班 Tel45-5511)

一般財源	80万円
------	------

開拓や十勝岳噴火被害からの復興など、上富良野町の歴史に対して町民が理解を深め、後世に残すため開拓記念館においてさまざまな資料を展示、保存しています。

誇りと責任・役割を分かちあえる暮らし

このまちに住む人、このまちで働く人、このまちを訪れる人、上富良野とつながりを持つすべての人が、自らの誇りにより、まちの良さや暮らしやすさを守り、さらに発展させるため、そこに生じる責任を果たすとともにそれぞれの役割を担っていくことができる暮らしの実現をめざします。

かみん(保健福祉総合センター)の運営

5,478 万円

(保健福祉課 福祉対策班 Tel45-6987)

使用料等	817万円	一般財源	4,661万円
------	-------	------	---------

保健福祉総合センター「かみん」では、「役場保健福祉課」、「地域包括支援センター」、「社会福祉協議会」の他、社会福祉法人富良野あさひ郷の運営による「デイサービスセンター」や社団法人北海道総合在宅ケア事業団の運営による「訪問看護ステーション」が開設されています。

管理委託	1,438万円
運動指導	1,113万円
燃料費	1,045万円
光熱水費	1,401万円
地デジ対応設備	122万円
消耗品など	359万円



自衛隊基地対策

509 万円

(総務課 基地調整室 Tel45-6980)

国	43万円	一般財源	466万円
---	------	------	-------

自衛隊基地周辺の整備事業計画の調整や、自衛官募集事務、関係団体との連携など、陸上自衛隊上富良野駐屯地との間の様々な事柄について、総合的な調整を行います。

また、上富良野駐屯地の現状維持に向けた活動や、関係協力団体への補助を行います。



ボランティアの町づくり

181 万円

(保健福祉課 福祉対策班 Tel45-6987)

一般財源	181万円
------	-------



住民が身近なところで気軽にボランティア活動に取り組める環境づくりを進めるため、ボランティアコーディネーターを配置して、ボランティアの町づくりを推進します。

富良野広域連合(総務費用)

1,594 万円

(総務課 企画財政班 Tel45-6980)

事務所使用料(消防)

187万円

一般財源

1,407万円

町で行う一部の事業は、効率的に進めるために富良野沿線5市町村が協力して実施します。

右の4事業の実施に必要な経費負担のほか、議会費などの総務的な経費も各市町村で負担します。

・総務費用	1,594万円
・衛生センター(8ページ)	9,072万円
・串内牧場(7ページ)	1,424万円
・消防(11ページ)	2億6,008万円
・給食センター(17ページ)	4,644万円
合 計	4億2,741万円

議会運営費

5,159 万円

(議会事務局 Tel45-6992)

一般財源 5,159万円

町議会議員14名の報酬や議会だよりの発行、会議録の作成など、町議会を円滑に運営するための経費です。

緊急雇用創出対策

1,098 万円

北海道 1,098万円 一般財源 -

依然厳しい雇用情勢と失業率の悪化に伴い、国では「緊急雇用創出事業」を実施しています。

町ではこれを受け、次の4事業の実施により雇用の確保に努めます。

(建設水道課 建設班 Tel45-6981)

道路環境整備事業(2名) 252万円

幹線道路の環境整備を行います。

公園環境整備事業(3名) 322万円

地区公園や児童公園の環境整備を行います。

(産業振興課 商工観光班 Tel45-6983)

観光案内事業(1名) 92万円

JR駅舎内で観光PRなどを行います。

(教育振興課 社会教育班 Tel45-5511)

収蔵物データ化事業(5名) 432万円

郷土館の収蔵物の整理とデータ化を行います。

新卒者の雇用対策

450 万円

(総務課 総務班 Tel45-6400)

一般財源 450万円

国の緊急雇用対策と併せて、就職先が決まっていない町内に居住する高校の新規卒業者を、臨時職員として3名採用します。

【繰越事業】

きめ細かな臨時交付金事業

8,698 万円

国では「明日の安心と成長のための緊急経済対策」として「地域活性化・きめ細かな臨時交付金」を創設しました。

町ではこれを受け、道路の補修や公共施設の修繕などを進めます。

※これらは平成21年度予算を平成22年度に繰り越して実施する事業です。

国 8,698万円 一般財源 -

・町道簡易舗装	3,231万円
・役場車庫屋根修繕	1,000万円
・富原球場フェンス修繕	870万円
・学校・保育所遊具修繕	425万円
・中の沢飲料水供給施設修繕	300万円
・中央墓地擁壁修繕	208万円
・宮町会館修繕	206万円
など	

役場庁舎の耐震診断

1,175 万円

(総務課 総務班 Tel45-6400)

国 588万円 一般財源 587万円

昭和42年度建築から40年以上が経過し、老朽化が著しい役場・消防庁舎の耐震診断を行います。



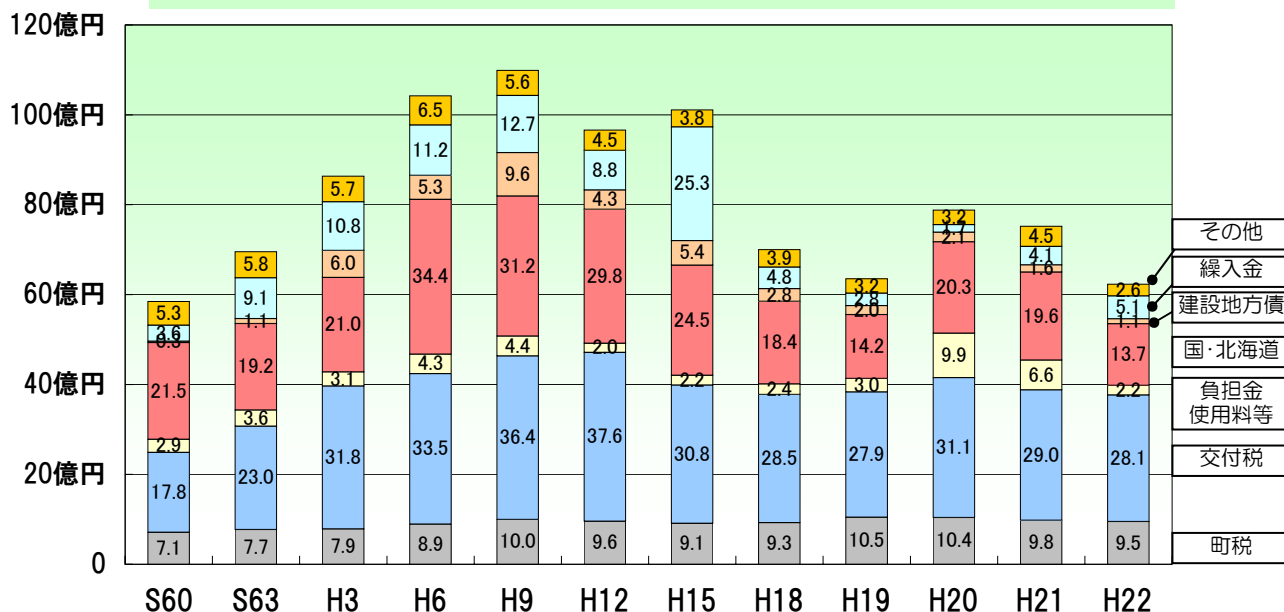
資料編

1. まちの予算

町の予算規模は平成22年度当初予算で62億3千万円。開基百年事業などにより予算規模が過去最大となった平成9年度の決算額108.2億円と比べると約46億円（約42%）の減額となっています。

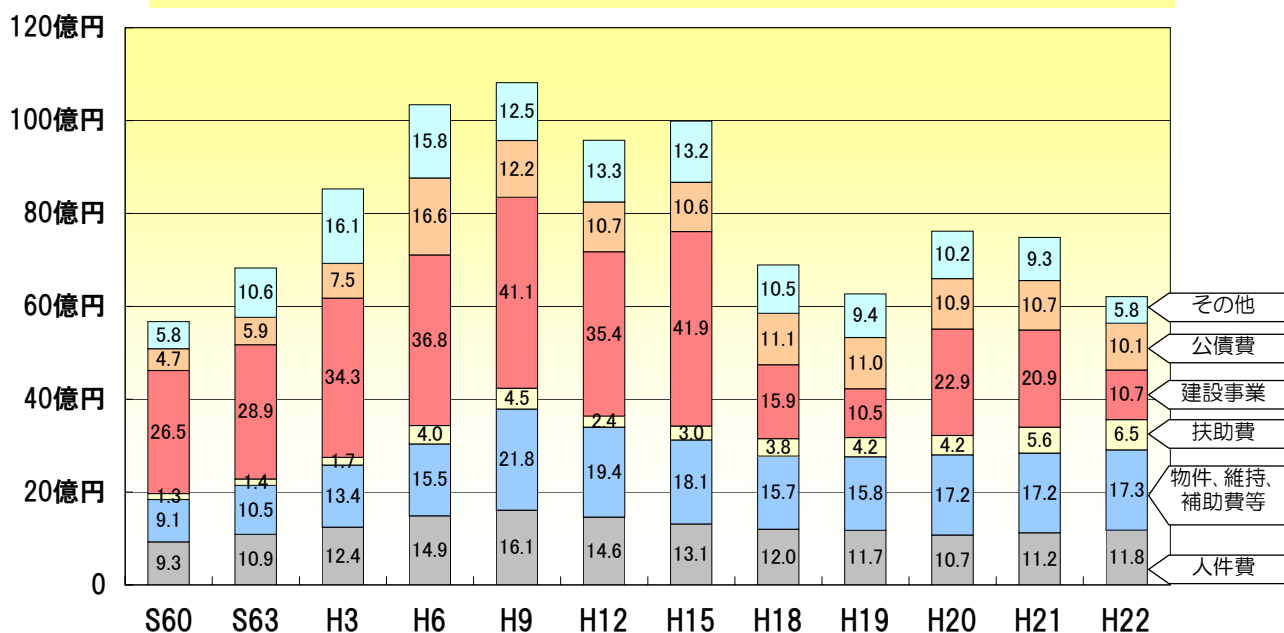
歳入(収入)

町税など、ゆるやかな増減を繰り返す「自主財源」に対して、昭和末期から好景気に乗って右肩上がりに増え続け、経済の失速と共に縮小を続けているのが国や北海道からの補助金、地方交付税などの「依存財源」。上富良野町のような小規模の自治体は、国の政策などに大きく左右される不安定な財政構造の上に成り立っているのが現状です。



歳出(支出)

グラフ中増減幅の最も大きい「建設事業費」は、好景気に後押しされた公共投資により激増し、バブル経済の終わりと共に激減しました。その一方で大幅に増えているのが建設事業と共に増加した公債費(借金返済)、児童手当や医療費給付などの扶助費です。公債費は返済額のピークを越し、現在は減少に転じていますが、扶助費などは「コンクリートから人へ」の転換を象徴するように増加し続けています。



※歳入・歳出ともH20までの数値は決算額、H21は決算見込額、H22は当初予算額となっています

資料編・・・まちの予算

資料編

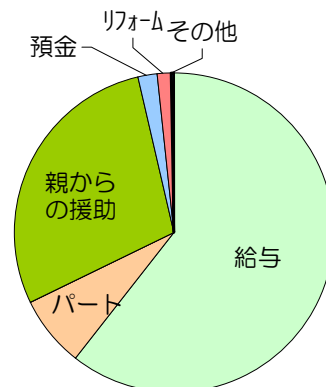
2. 家計にたとえると①

数十億円（時には百億円）を超える町の予算規模は、私たちにとってなじみ易い金額とはとても言えません。

もちろん仕組みや規模が大きく異なるため一概に置き換えることはできませんが、今年度の予算総額62億3千万円を千分の一の623万円に、町の主な収入である町税と交付税を「お父さんの給与収入」にたとえて、今年の予算の内訳やこれまでの経緯を見てみましょう。

《収入》

給与	377 万円	町税・交付税
パート収入など	45 万円	負担金、使用料など
実家からの援助など	179 万円	国・道補助金など
預金の取崩し	11 万円	目的基金の繰入
リフォームローン	9 万円	建設地方債
その他	2 万円	繰越金、積立金など
合計	623 万円	



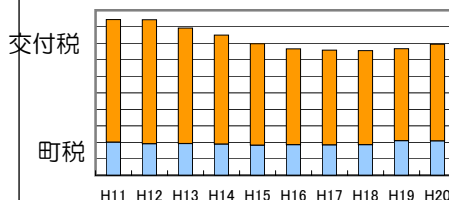
○自主財源

お父さんの給与収入（町税、交付税）は377万円。

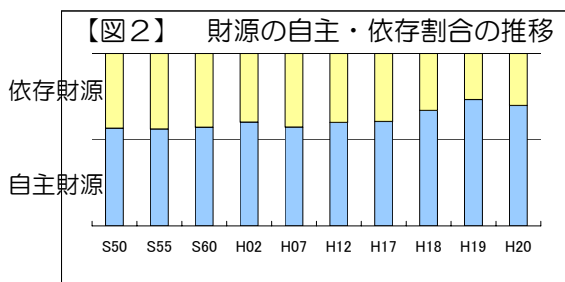
基本給（町税）に大きな変化はありませんが、会社の業績悪化により残業代やボーナス（交付税）が激減し、ピーク時の平成11年と比べると約90万円の減収となっています。※図1

収入の減少を補うためにお母さんはパートに出かけます。出勤時間（住民負担）を増やすなど徐々に収入（負担金、使用料など）を伸ばし、家計に占める割合も上がってきましたが、これ以上の増収が体力的にも難しいのが現実です。

町の主な収入である町税と地方交付税は総額で39億円。ピーク時には47億円にも上りましたが、国税収入の落ち込みから、交付税が24%も減少しています



【図1】 町税及び地方交付税の推移



※交付税は通常、依存財源に分類されますが、わかりやすくするために自主財源に分類しています

○依存財源

住宅のリフォームや子どもの進学など、様々な場面でお父さん、お母さんの実家から支援を受けています（国、道補助金など）。

しかし実家も同じ不況の波の中。援助の金額も減り、使い道も厳しく制限されています。

金額はピークだった平成6年と比較して4割近く減少しましたが、現在でも収入の3割近くを占めており、できるだけ親に頼らない生活への転換を目指しています。

2. 家計にたとえると②

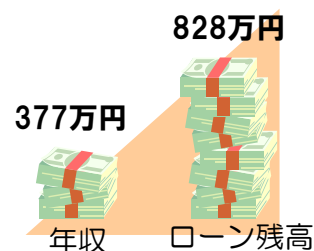
また、必要に応じてローン（地方債）を組む場合もありますが、支払い能力を大きく上回るローンに苦しみ、自己破産（財政再建団体化）する同僚も。

できるだけ少なく、できるだけ有利な方法を研究して残高を減らしています。

長引く不況下、これまで会社の給料やパート収入が少しでも増えるよう家族一丸となって協力し（収納率の向上や受益者負担の見直し）、フリーマーケット（公有財産売却）を利用したり時には親に頼みこんだりと、様々な方法を試みてきた結果、平成20年度によりやく預金（財政調整基金）を取り崩すことなく一年を過ごすことができました。

支出を抑えることはもちろんですが、家族の健康と豊かな生活（充分な行政サービス）のためには安定的な収入が欠かせません。近頃はお父さんのインターネット（町ホームページ）、お母さんの家庭菜園（地場産品）などを活用した新しい収入の道を探る毎日です。

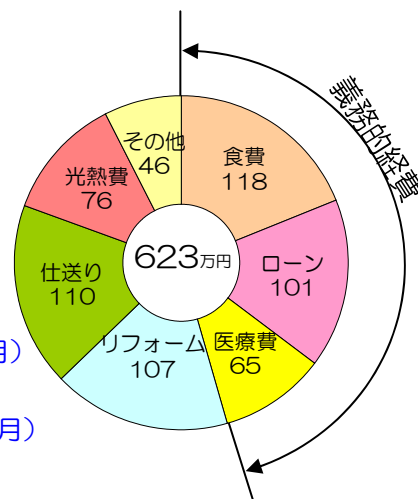
収入に対するローン残高



それでは次に、支出を見てみましょう。

《支出》

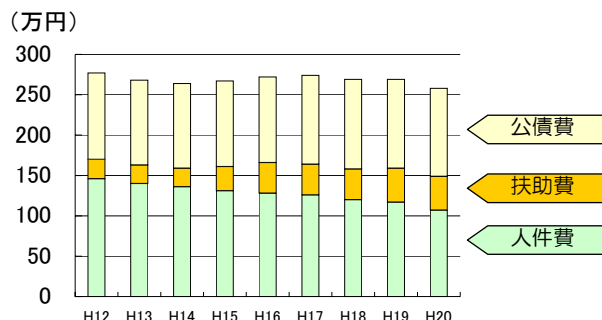
食費	118 万円	⇒ 人件費 (10万円/月)
医療費等	65 万円	⇒ 扶助費 (5万円/月)
ローン返済	101 万円	⇒ 公債費 (8万円/月)
光熱水費、日用品	76 万円	⇒ 物件費 (6万円/月)
教育費、自治会費等	26 万円	⇒ 補助費 (2万円/月)
住宅リフォーム等	107 万円	⇒ 建設事業費 (9万円/月)
仕送り	110 万円	⇒ 繰出金等 (9万円/月)
その他	20 万円	⇒ 積立、出資等 (2万円/月)
合計	623 万円	



なかなか減らない「医・食・住」

医療費（扶助費）、食費（人件費）、住宅ローン（公債費）の合計は284万円と、支出全体に占める割合が非常に大きい反面、一定の水準を超えて節約することが難しく（「義務的経費」とも言われます）、家計に重くのしかかってきています。

その中でも食費はこの10年間で27%、40万円ほど節約しましたが、家族の平均年齢が上がるにつれ医療費が平成12年の24万円から75%もの負担増となっています。



資料編

2. 家計にたとえると③

ローン返済に全力投球

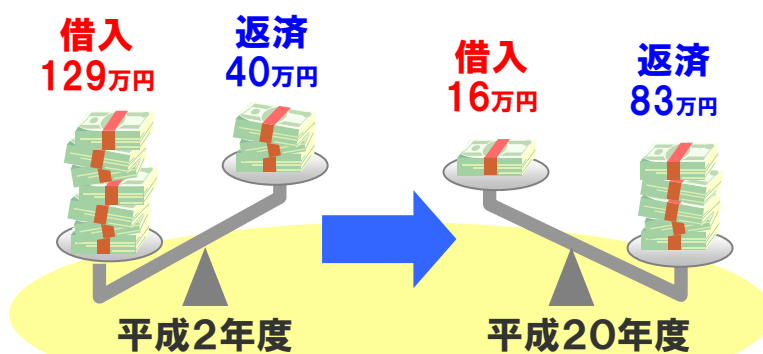
お父さんの給料（**税収**）が順調に伸びていたころ、マイホームや新車の購入（**投資的事業**）にあてるため、多くのローンを組んでいました（**地方債の発行**）。

バブル崩壊以降も増え続ける返済額が多く、多くの家庭を破綻寸前まで追い込みましたが、借入を極力減らし、積極的に繰上げ返済を行うなどして何とか乗り切ることができそうです。

昭和から平成への変革期、バブル経済の後押しを受けたインフラ整備をはじめ、公共投資は拡大の一途をたどりました。

返済額の2～3倍の借入を繰り返し、平成10年によろやく借入額は減少に転じましたが、借入残高はピークの平成16年には住民1人あたり90万円にも膨らみました。

町では行財政改革の中で借入の抑制と繰上返済に取り組んだ結果、現在では借入残高が住民1人あたり68万円と大幅に改善されています。



※臨時財政対策債などを除く

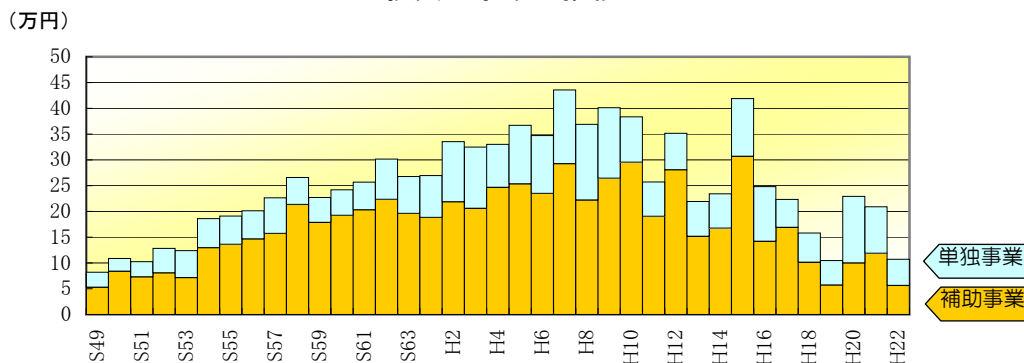
高い買い物は慎重に・・・

屋根や外壁の修理、地デジに車検・・・様々な場面で大きな投資が必要となります（**投資的事業**）。

これまでローン（**地方債**）や実家の援助（**国・道補助**）を受け、どんどん整備を進めてきましたが今は不況の真っ只中。

修理や買い替えが必要なときは、より安く、より高い品質を求めて家族会議（**予算査定**）を重ねます。

投資的事業の推移



3. まちの貯金(基金)

町では、それぞれの目的に応じて『財政調整基金』、『減債基金』のほか、農業振興、教育振興などに使用される『特定目的基金』などの積立(貯金)をしています。

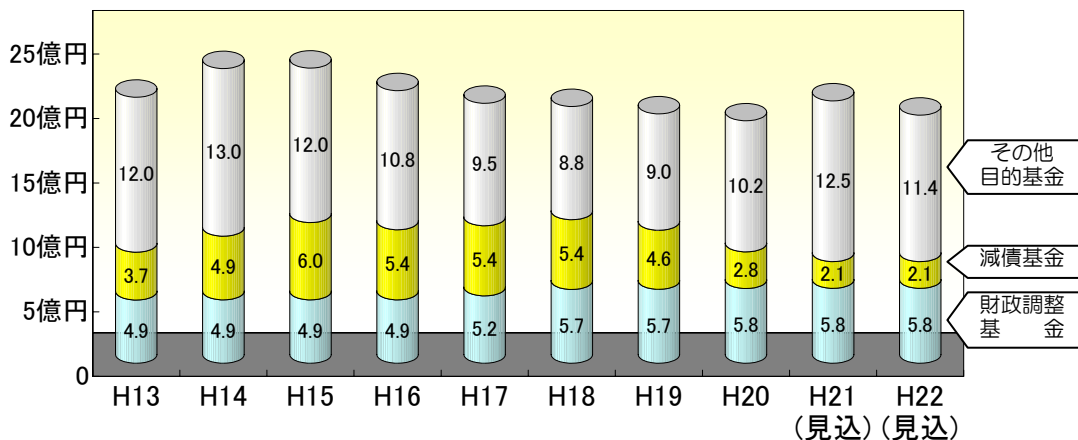
財政調整基金・減債基金

急激な収入減による財源不足や災害による突発的な出費、借金の繰上償還などに対応するための蓄えです。一般家庭の預金とほぼ同じ役割を果たしていますが、町の基金は「貯めすぎず、使いすぎず」が原則。適切な支出(行政サービス)と適切な蓄えが求められています。

特定目的基金

子どもの進学やマイカー購入、家族旅行の費用など、ご家庭でもさまざまな目的に応じた計画的な積み立てはとても重要です。町でも教育振興や産業振興、国内外交流など、将来必要となる資金を目的別に積み立て、必要に応じて取崩し、事業の費用にあてています。

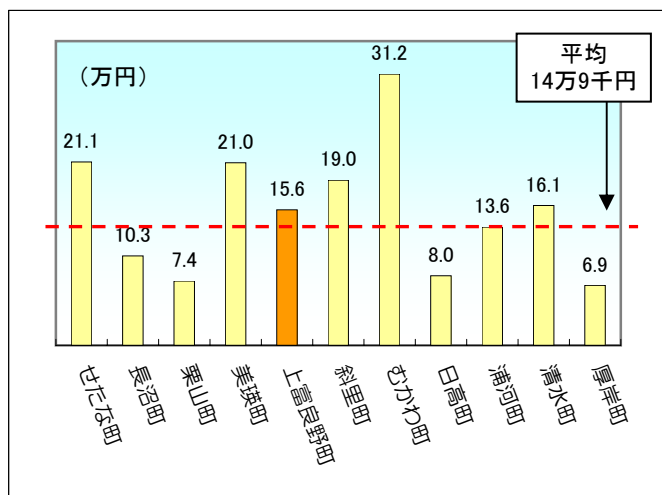
基金残高の推移



※一般会計。数値は各年度末現在のものです。

町の基金の総額は、平成21年度末現在で19億2,523万円となっており、ピーク時(H15)と比較して約2億5千万円減少していますが、これは平成19~21年度にかけて行われた町債(借金)の繰上償還の財源として減債基金から約3億円を取り崩したことが大きな要因です。

類似団体との比較(住民一人あたり基金残高)



※平成20年度末現在の基金残高、人口から算出しています

【ことば】類似団体

『類似団体』とは、人口規模や産業構造が似た市町村ごとに分類したもので、財政状況の比較などに用いられます。

平成20年度に上富良野町が属するのは、人口1万~1万5千人で第2次産業、第3次産業に占める人口が80%未満の町村の分類で、全国で54町村、北海道内では上富良野町をはじめ11町村がこの区分に該当します。

【類似11町村】

上富良野町、美瑛町、せたな町、長沼町、栗山町、斜里町、むかわ町、日高町、浦河町、清水町、厚岸町

4. まちの借金(町債)

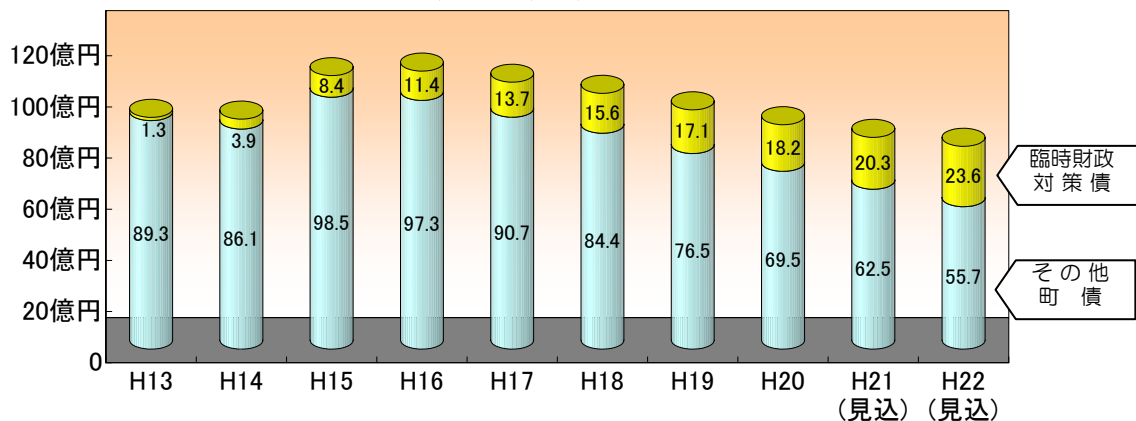
道路や橋梁、学校や会館など、公共施設の整備には多額の費用がかかります。この費用にあてるため、町では国や銀行などから資金の借り入れ(借金)を行います。この町の借金を「**地方債(町債)**」といいます。

まちの借金は、事業にかかる資金不足を補うほか、その公共施設を「将来」利用する人たちも平等に負担(返済)するための役割も果たしています。



しかし町の運営に欠かせない財源とはいえ借金は借金。少なければ少ないほど町の財政は健全といえますので、地方債の残高や償還額が町の財政規模とバランスがとれるよう、適切に管理していかなければなりません。

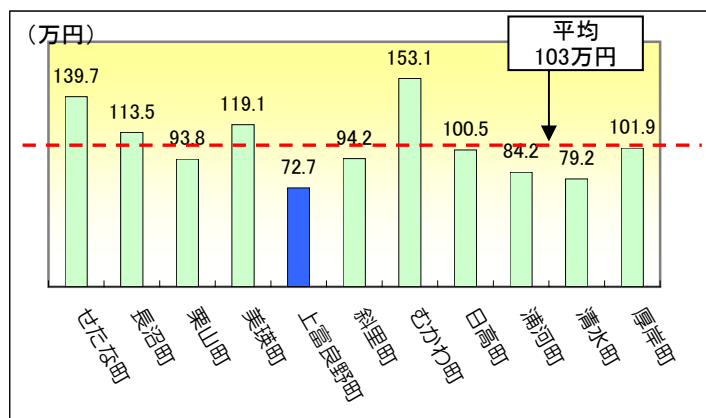
町債(借金)残高の推移



※一般会計。数値は各年度末現在のものです。

町の一般会計の地方債(借金)残高は、平成21年度末現在で約82億8千万円となっており、ピークであった平成16年度と比較して約25億9千万円減少しています。これは行財政改革の取り組みによる地方債発行の抑制と、金利の高い地方債の繰上償還による減少が大きな要因となっており、残高・償還額いずれにおいても今後さらに減少が見込まれます。

類似団体との比較(住民一人あたり町債残高)



※平成20年度末現在の地方債残高、人口から算出しています

【ことば】

臨時財政対策債

平成13年度から、それまで国の特別会計が借金をして交付していた地方交付税の一部を、地方(町)が直接借金して財源を確保することとなりました。

この借金を臨時財政対策債と呼び、償還する元金・利子全額が後の年度において普通交付税に算入されることとなっています。

5. お隣さん比べてみましょう

家計で大きな位置を占める税金などの公共料金。
いつも町から送られる納付書で支払っているけど、となりのマチに比べて高いのか、安いのか・・・
右のモデル世帯を例に比較してみましょう。

私たちがモデルです

父：42歳 年収500万円
母：41歳 主婦（パート）
子：14歳、6歳

土地：宅地約90坪
家屋：木造120㎡
築4年

町税（町道民税、固定資産税など）

町・道民税は近隣・類似団体間では全て同額になりますが、固定資産税では平均的な地価により、また都市計画税の課税の有無（上富良野町では課税していません）により差が生じています。

	町道民税	固定資産税	都市計画税 軽自動車税
上富良野町	258,100円	13.6 (万円)	11.5
中富良野町	255,300円	13.6	11.2
富良野市	286,700円	13.6	11.8 2.5
南富良野町	248,100円	13.6	10.5
占冠村	248,100円	13.6	10.5
美瑛町	284,300円	13.6	11.6 2.5
類似団体平均	268,500円	13.6	11.2 1.3

※固定資産税、都市計画税は北海道地価調査による価格を参考にしています

国民健康保険税（料）

	医療分	後期高齢者 支援分	介護保険分
上富良野町	492,100円	31.3 (万円)	10.5 7.4
中富良野町	508,700円	32.7	11.6 6.5
富良野市	546,000円	36.3	11.6 6.8
南富良野町	485,300円	34.0	8.9 5.7
占冠村	435,700円	28.0	10.2 5.5
美瑛町	427,400円	26.9	9.2 6.7
類似団体平均	510,133円	33.6	10.9 6.5

※モデル世帯が国保に加入した場合の年額を試算しています

国民健康保険の税額は各自治体に委ねられています。そのため算定方法や金額に大きなバラつきがありますが、上富良野町は類似団体と比較してやや低い水準となっています。



上下水道料

上下水道料金の計算方法は自治体によって様々ですが、概ね年額8万円前後の料金負担が設定されています。

富良野沿線5市町村や類似団体の平均額は76,584円と、上富良野町は平均額をやや下回りますが、およそ標準的な料金負担をお願いしています。

	上水道料	下水道料
上富良野町	75,600円	3.9 (万円) 3.7
中富良野町	68,280円	3.7 3.2
富良野市	82,800円	4.5 3.8
南富良野町	76,440円	4.8 2.9
占冠村	39,240円	1.8 2.2
美瑛町	80,520円	4.9 3.2
類似団体平均	75,867円	3.9 3.7

※上富良野町における4人世帯の月平均使用水量（19立方メートル）により比較しています

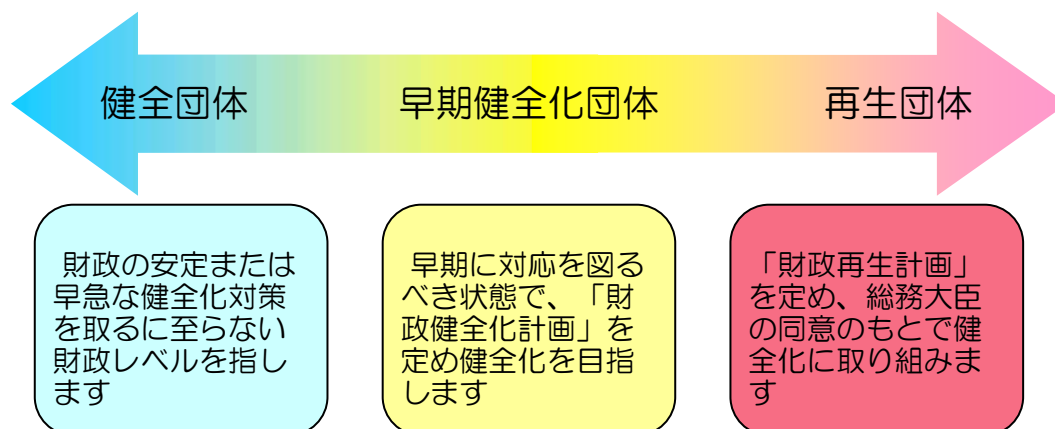


6. 財政指標①

自治体はそれぞれ地域の特色をもって財政運営をしているため、その健全度は人口規模や予算規模で計ることは困難です。

そのため、支出している経費や収入の内容などを分析して、自治体の健全度を全国一律の基準で示すものが「財政指標」または「健全化指標」と呼ばれるものです。

中でも、「財政4指標」と呼ばれる「実質赤字比率」「連結実質赤字比率」「実質公債費比率」「将来負担比率」は、その比率の水準に応じて早急な健全化を要する団体、再建計画による健全化が必要な団体などに分類される重要な基準となります。



財政4指標（平成20年度）

実質赤字比率

早期健全化 15%以上 財政再生 20%以上
一般会計が抱える赤字の規模を示す比率です。

家計に例えるなら大黒柱であるお父さんの財布の状況であり、1年間の赤字が給料に占める割合を示します。
上富良野町は黒字決算であるため、この比率には該当しません。

【算式】一般会計赤字額÷町の財政規模

実質公債費比率 21.1%

早期健全化 25%以上 財政再生 35%以上
全ての会計や一部事務組合などを含む町全体のローン返済の規模を示します。

家計に例えると、家族（特別会計）や町内会（一部事務組合）のローンなど、実質的に大黒柱であるお父さんが負担する全ての返済額が給料に占める割合を表しています。

【算式】年間の借金返済額÷町の財政規模

連結実質赤字比率

早期健全化 20%以上 財政再生 40%以上
町の全ての会計が抱える赤字の規模を示す比率です。

家計に例えると、家族（特別会計等）の赤字も最終的に責任を取るのは大黒柱であるお父さん。家族全体の赤字が給料に占める割合を示します。
上富良野町は黒字決算であるため、この比率には該当しません。

【算式】全会計赤字総額÷町の財政規模

将来負担比率 134.4%

早期健全化 350%以上
「実質公債費比率」に算入した全てのローンの残高をはじめ、大学に通う子どもの卒業までの学費など、将来の支払いが確実な費用などの総額が給料に示す割合を示します。

ただし、預金額（基金）は差し引いて考えられます。

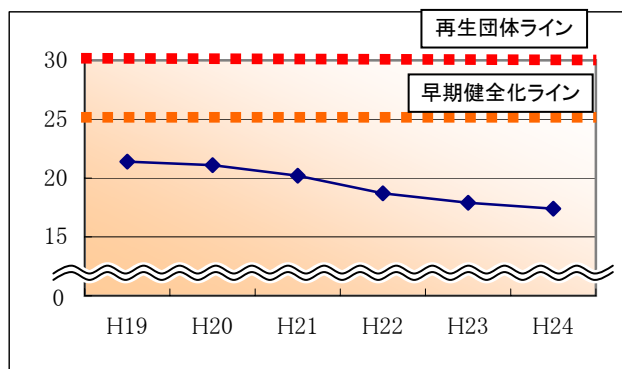
【算式】（負債残高－基金）÷町の財政規模

6. 財政指標②

上富良野町の健全度

前ページの指標によると、上富良野町の財政水準（危険度）は少なくとも早急な健全化を要するレベルでないことが示されています。

【実質公債費比率の推移と見込み】



類似団体の平均値である19.9%をやや上回る実質公債費比率（H20年度21.1%）も、これまでの行財政改革の取組みによる借金（町債発行）の抑制や繰上償還などにより、今後大幅に改善される見込みとなっています。

少ない残高、高い比率！？

※上富良野町は過疎地域に発行が許される有利な地方債（過疎債）が発行できないため、同規模の自治体と比較して最も低い借金残高（ひとり当たり・26ページ参照）に反して実質公債費比率が高くなる傾向にあります

しかし財政状況の実態は、経常的な収入の大部分が経常的な支出に充てられ（右表「経常収支比率」参照）、また国や北海道の影響を大きく受ける依存財源が収入の7割以上を占めるなど、まちの財政構造が厳しいことも現実です。

経常収支比率

86.9%

「財政4指標」のほか、財政構造の弾力性を判断する比率が「経常収支比率」です。人件費や扶助費、公債費（借金の返済）などの経常的な支出が、町税や地方交付税などの経常的な収入に占める割合を示します。一般的にこうした硬直性の高い支出が少ないほど健全であり、町においては80%以下であることが望ましいとされています。

類似団体との比較

下の表のとおり、平成20年度においては類似団体すべての指標が健全化基準を下回っています。上富良野町の財政指標も類似団体中で中間程度を維持していますが、今後もより一層柔軟かつ健全な財政運営を心がけていかなければなりません。

町村名	財政4指標						経常収支比率	
	実質赤字比率	連結実質赤字比率	順位	実質公債費比率	順位	将来負担比率	順位	
上富良野町	-	-	7	21.1%	4	134.4%	4	86.9%
せたな町	-	-	9	21.8%	5	140.9%	7	91.7%
長沼町	-	-	8	21.6%	10	192.7%	3	86.7%
栗山町	-	-	10	24.5%	8	149.3%	8	92.1%
美瑛町	-	-	5	20.8%	3	133.3%	1	84.5%
斜里町	-	-	1	14.6%	1	98.2%	2	85.9%
むかわ町	-	-	3	17.5%	2	131.8%	9	93.7%
日高町	-	-	4	20.2%	6	141.7%	10	93.8%
清水町	-	-	5	20.8%	7	149.1%	6	88.2%
厚岸町	-	-	2	15.6%	9	183.9%	5	87.7%

用語解説

このページでは冊子の中に記載のあった言葉のうち、あまりなじみのない行政用語や財政用語などについて説明しています

あ 一般会計（いっばんかいけい）

町を運営するための基本的な経費を計上した会計で、町税などが主な財源です
町の予算の中心となるものです

一般財源（いっばんざいげん）

町税や地方交付税など、使途に制限のない収入を指します

か 基金（ききん）

「財政調整基金」などのように、急激な税の落ち込みなど突発的な資金需要に対応する資金のほか、特定の目的を達成するために積み立てや運用を行う資金（特定目的基金）を指します
（詳しくは資料編「まちの貯金（基金）」をご覧ください）

繰入金（くりいれきん）

町の他の会計から受け入れる資金や、基金（貯金）を取り崩した資金を指します

繰出金（くりだしきん）

主として、他の会計の事業に要する経費や借金の償還金の一部を負担する経費を指します。
国から負担する経費の基準を定められた繰出しや、収支不足を補うための繰出しがあります

決算統計（けっさんとうけい）

地方自治体の決算の状況を、全国一律のルールに基づいて集計したものです。他の自治体とのお金の使い方の違いを比べられる唯一のデータとして、財政状況の分析などさまざまな分野に使用されます

建設事業費（けんせつじぎょうひ）

道路、橋、学校の建設など、社会資本の形成を伴う支出で、工事費や負担金により支出されます

国勢調査（こくせいちょうさ）

5年に1度、全国的に実施する人口や生活実態などの戸別訪問による一斉調査で、普通交付税の算定などさまざまな場面で人口の基礎数値として使用されます。上富良野町の直近の人口（H17調査）は12,352人です

国庫支出金（こくこししゅつきん）

国から町に対して支出される負担金、補助金、委託金、交付金です

さ 指定管理者制度（していかりんしゃせいど）

主に施設の管理運営を、民間企業（指定管理者）の知識と経験を活かして効果的・効率的に行うための制度です

た 地方交付税（ちほうこうふぜい）

●普通交付税

所得税や法人税、消費税などの一定割合を財源として国から町などの地方自治体に交付する制度で、税収入の少ない地方にとっては自治体の運営を左右する重要な財源となっています
使途は定められておらず、町の裁量で事業などに充てられる「一般財源」として交付されます

●特別交付税

人口や面積など、標準的なルールに基づいて交付される普通交付税に対して、自治体ごとの特殊事情に応じて交付されるのが特別交付税であり、普通交付税の補完的役割を果たします

町債・地方債（ちょうさい・ちほうさい）

町が国や民間金融機関などから長期的に借り入れる資金のことです。これらは主として道路や学校、ごみ処理施設、公園など社会資本の整備にあてられます

町税（ちょうぜい）

町に属する税金で、個人町民税、法人町民税、固定資産税（土地、家屋、償却資産）、町たばこ税、軽自動車税、入湯税があります

道支出金（どうししゅつきん）

北海道から町に対して支出される負担金、補助金、委託金、交付金です

特定財源（とくていざいげん）

使途の自由な一般財源に対して、使途が特定（制限）された収入を特定財源といい、国や北海道からの補助金や使用料、負担金など、ある事業の実施のために収入されたものを指します

は 特別会計（とくべつかいけい）

行

国民健康保険のように、特定の人たちがお互いに助け合うことを目的とした事業や、公共下水道事業のように限られた人たちが利益を受ける事業は、利益を受ける人たちが負担するお金を中心に運営しています

それぞれに経理を明確にする必要があるため、一般会計と区別して、特別会計として経理しています

上富良野町には、一般会計と同様の会計処理を行う国保・老人保健・後期高齢・介護保険・ラベンダーハイツ・簡易水道・下水道の7会計（特別会計）と、民間企業と同様の会計処理を行う病院・上水道の2会計（企業会計）があります

物件費（ぶつけんひ）

事務用物品の購入のほか、光熱水費、臨時職員の賃金、旅費、業務委託費など、主として消費的な性格の支出を指します

扶助費（ふじょひ）

児童手当などの法律に基づく支給や、町が単独で行う生活支援など、住民の生活保障にあてる経費です

分担金（ぶんとんきん）

事業の実施によって利益を受ける人や企業が、その事業費の一部を「分担金」として負担する場合があります

「まちのしごと」に対する ご意見をお寄せ下さい

町では、町民の皆様と共に「協働」をキーワードとしたまちづくりを進めています。

さまざまな場面での議論や意見交換のほか、町民ポストや電子メールなどを利用して、皆様のまちづくりに対する思いをお気軽にお寄せください。

また、当冊子の編集・発行に際しては「見やすく、わかりやすく」を心がけていますが、お気づきの点、要望などありましたら担当までお知らせ下さい。

平成22年度 当初予算説明書

上富良野町 知っておきたいことしのしごと

発行年月
編集・発行
住所・連絡先

平成22年4月
上富良野町 総務課 企画財政班
北海道空知郡上富良野町大町2丁目2番11号
電話 0167-45-6980 FAX 0167-45-5362
E-Mail kikakuzai@town.kamifurano.lg.jp
ホームページ <http://www.town.kamifurano.hokkaido.jp/>

この冊子はPDFデータでもご覧いただけます。上記ホームページよりダウンロードしてご利用ください